

第41回甲賀市入札監視委員会の結果について

第41回甲賀市入札監視委員会が開催され、その審議結果及び概要は以下のとおりです。

記

1. 開催日

平成30年10月25日（木） 13時55分から16時00分まで

2. 開催場所

甲賀市役所 4階 会議室402

3. 出席者

中島宏三委員長、池本悦子委員、岡村寿昭委員、
中村正哉委員、吉川英治委員

事務局職員 総務部 森本裕之部長、山元正浩次長
管財課 中沢佳弘課長、中村隆博課長補佐、大谷浩志係長

欠席者 なし

4. 市民憲章唱和

5. 開会

あいさつ（森本部長）

6. 発注工事等の説明（事務局）

7. 審議案件

①審査対象

- ・入札期間 平成30年 4月 1日 ～ 平成30年 7月31日
- ・落札件数 工事39件、委託9件、物品0件
- ・金額 契約金額1,000万円を超えるもの（共通3種別）

②抽出事案

入札及び契約手続きの運用状況等の結果審議結果（6件）については、以下のとおり検討事項として意見が付されました。

・平成29年度 第157号 佐山小学校空調設備整備工事

（意見）事後審査型一般競争入札から随意契約に移行されている。不落随意契約に移行する基準、範囲が設定されていないことから、その基準を整理されたい。

・平成30年度 第1号 信楽地域市民センター・信楽伝統産業会館等建設工事

(建築主体工事)

(意見) 同一敷地内での複数施設の改修・増築工事であるが、施設ごとの個別発注ではなく一括発注とした理由が判然としないとの意見があったが、現場の状況、施工条件とともに、工事進捗中における市民の施設利用も考慮した結果であることを確認した。

・平成30年度 第27号 (仮称) 甲賀市西部学校給食センター造成工事

(意見) 入札参加業者数13者に対して失格業者が10者と多い入札結果であったため、その理由を確認しておきたいという意見があった。この点については、応札した業者の直接工事費に大きな差はなく、諸経費を積算するときの最低制限価格の予想の差が反映されていると推察できることを確認した。

・平成30年度 第242号 甲賀市小中学校施設長寿命化計画策定業務委託

(意見) 予定価格と落札価格が大きく乖離していた。また、当該委託業務の仕様書には、市から提供する図面や別委託している建物調査関係の資料のリストが明記されておらず、適正な見積りができたのか判然としないことから、仕様書作成時の事前検証や業務の管理、成果の検査、チェック体制等について検討されたい。

・平成30年度 第180号 甲賀市文化ホール舞台芸術制作業務委託

(意見) 当該業者と随意契約を行っているが、競争入札に付することができないとする理由の説明が判然としない。次年度業務に向けて、県内の各施設も参考に入札方式等を検討されたい。

・平成30年度 第199号 甲賀市固定資産評価更新業務委託

(意見) 予定価格の3分の1程度の落札額となっていることから、特に低価格の案件については見積額の内訳を検証されたい。また、本業務が低価格により落札され、複数年契約のため、その年度ごとに、目的どおりの成果物が納められているかの検査を行うこと。

8. 指名停止の状況報告

- ・平成30年 4月17日 ~ 平成30年 4月30日 (2週間) 3件
- ・平成30年 5月 8日 ~ 平成30年 8月 7日 (3箇月) 1件
- ・平成30年 5月 8日 ~ 平成30年11月17日 (3箇月延伸) 1件

(意見) 指名停止2週間とする基準は何に基づいてのものか。

9. その他

- ・最低制限価格制度について

(意見) 業務委託の最低制限価格制度については、今年度導入をされたところである。過去に低価格で落札されている案件において、業務委託完了検査での不都合な報告がされていない中で、今回、最低制限価格の導入には国からの指導等によるとの説明であったが、その必要性についてどのような議論により導入したのかその過程を明らかにすること。

役務関係の委託については、現在導入されていないが、今後、検討課題とする。

10. 閉会

あいさつ (山元次長)